

下鶴隆央 鹿児島県議会議員

所属政党 無所属



特別プログラム

「地方派遣型政治家体験プログラム」

「地方創生」というテーマは今もっともホットな話題の一つとして、よく見かけます。
政治家という視点から地方創生のリアルに迫る、5日間の旅に出ませんか？

このプログラムは、東京周辺の大学に通う学生が地方の政治家（今回は鹿児島県）のもとでの研修を通して、東京と異なる政治や行政の現場で新たな気づきを得るプログラムとなっています。

今回このプログラムで研修生を受け入れてくださるのは、
I-CASで議員インターンシップを経験した後、政治家になられた
下鶴 隆央 鹿児島県議会議員です。

夏休みの5日間、東京から離れて地方創生のリアルに迫る
政治家体験、是非参加してみてください！

研修先 : 下鶴 隆央 鹿児島県議会議員（無所属）

研修期間 : ~~10日間~~→ 5日間
9月上旬に5日間（希望により変更・延長可）

参加費 : 通常プログラムと同様 5000 円
（鹿児島までの移動は参加者が手配）

注意事項 1 : 行事保険（334 円）への加入必須

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/seikatsu/seikatsukonnkyuu/seikatsusyurou.files/ho-kennogoannnai.pdf>

注意事項 2 : 面談は Skype で実施

注意事項 3 : 研修修了後 報告書の提出が必須

特典 1 : 交通費を最大 5,000 円 I-CAS から支給

特典 2 : 宿泊費を研修先議員が負担

プロフィール

1980年（昭和55年）鹿児島市生まれ（36歳。鹿児島県議会では最年少）
2003年（平成15年）東京大学法学部第2類（公法コース）卒業
コンサルティング会社勤務、26歳での初出馬・落選を経て、
2011年（平成23年）鹿児島県議会議員選挙（鹿児島市・鹿児島郡区）初当選。
2015年（平成27年）鹿児島県議会議員選挙2期目当選。

政治姿勢

主に以下の政策に重点的に取り組んでいます。

1. 鹿児島に稼げる仕事をつくる。
 - (1) 新しい産業・仕事をつくる。
 - (2) 真の「かごしまブランド」を確立し、稼げる農林水産業をつくる。
 - (3) 国内外から誘客できる国際都市 KAGOSHIMA へ。稼げる観光業をつくる。
 - (4) スポーツを活かしたまちづくり。活気ある鹿児島をつくる。
2. 将来にわたって安心して生活できる鹿児島をつくる。
 - (1) 医療・福祉をはじめ、安心して生活できる鹿児島をつくる。
 - (2) 安心できる子育て支援をつくる。
 - (3) 将来稼げる仕事に就くために。どこに行っても稼げる力を持つ「たくましい鹿児島の子」をつくる。
3. チャンスは平等に。頑張る人が・子どもたちが報われる鹿児島をつくる。
 - (1) 子どもにツケを回さない。税金の使い道を、費用対効果を、しっかりと考える鹿児島をつくる。
 - (2) 外郭団体の徹底改革。「官」が不当に優遇されない鹿児島をつくる。
 - (3) 将来の課題に今から対応できる鹿児島をつくる。
 - (4) まずは議会改革から。説明責任を果たす「見える県議会」をつくる。

インターンシップ内容

活動日数	9月上旬に5日程度（希望により変更・延長可）
受け入れ人数	1～2名程度
一緒に活動するインターン生に望むこと	やる気・積極性 「何をやりたいか」「インターンを通じて何を得たいか」ははっきりと伝えてください。インターンが有意義なものになるよう、できる限り対応します。
議会・事務所の最寄り駅	議会：鹿児島中央駅（九州新幹線） 事務所：谷山駅（指宿枕崎線）

受け入れ条件

交通費支給	△	「ちょっとのぞきたい」OK	○
食費支給	△	政治の知識不要	○
近隣の方歓迎	△	PC 使える方歓迎	○
政治家志望歓迎	○		

(備考：交通費は、選挙区内での移動分は支給。食費は一緒にとる場合は支給。)

高校生	大学生	大学院生	社会人	留学生
○	○	○	○	○

○...受け入れ可 ×...受け入れ不可 △...どちらともいえない、場合による
(備考・条件)

経験できること

議会傍聴	×
実地調査・視察	○
議会質問作成	△

(備考：議会傍聴は、インターン受入期間と議会日程が異なるため)

会合・勉強会・イベント参加	○	事務 (名簿整理・お茶くみ・電話対応等)	△
後援者まわり	○	政党パーティ参加	×
陳情処理	○	他議員との交流	○
広報物作成	○	飲み会等の交流	○
広報物ポスティング	○	街頭演説・チラシ配り	○

○...はい ×...いいえ △...どちらともいえない、場合による
(備考：)

インターン中の主な行事・スケジュール

- ・興味がある政策の現地調査
 - ・県政報告会の運営補助
 - ・支援者訪問同行
 - ・ポスティング など
- (興味・関心に合わせて対応します)

その他 (一言、コメントなど)

私は 2001 年に I-CAS でインターンに参加したことがきっかけで、地方議員の道に進みました。私にとっては文字通り「人生を変える」経験となりましたが、インターン生の皆さんにとっても何らかの意味で「人生を変える」経験となるよう、お手伝いできればと考えています。

さて「地方創生」が注目されていますが、皆さんは実際に地方で暮らしたことはありますか？特に大都市圏出身の皆さんに、実際に地方の政治・生活を体験して頂き、皆さんのアイディアを活かして、一緒に取り組みを考えていければと思います。

(もちろん、地方出身者の参加も歓迎です)

現在の経験・知識は一切問いません。やる気と積極性だけを持ってきてください。皆さんと一緒に活動できるのを心より楽しみにしています。